



” SELFWORKING FORUM アンケートレポート

収集日：2019,09,12

作成日：2020,02,

はじめに

9月に開催されたフォーラム参加施設の内、アンケートに回答いただいた**33施設**の結果をReportにまとめた。

- ・関東・中部に所在する施設管理者層の参加が目立った。(アンケートNO.1、10より)
- ・アンケート結果から、工賃向上のための努力として、業務の受託ルートの開拓や工夫が挙げられるが、同時に課題感としても、適正工賃・適正量で受託することの課題感が見受けられる。(アンケートNO.4より)
- ・PC業務・軽作業はどちらも偏りがなくエントリーされているが、初期投資が低い(無い)案件・施設内業務のエントリー希望が目立った。(アンケートNO.11より)
- ・また共同受注窓口の加入が6割強、未加入に比べ営業よりもスキルアップや単価交渉に力を注ぐ傾向が若干ではあるが見受けられる(アンケートNO.5、Bより)。

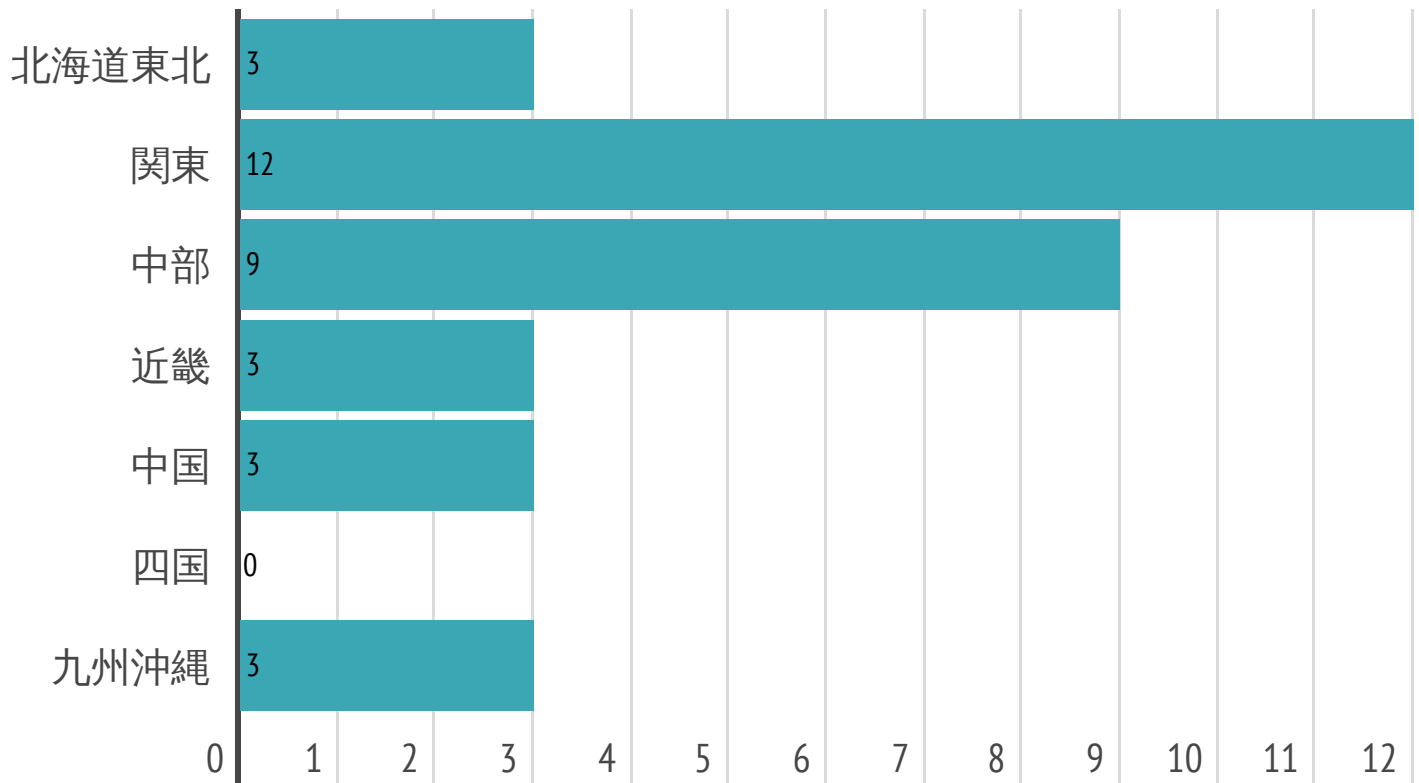
次項から各項目結果と、クロス集計を掲載する。

目次

- ・各項目結果...P1~7
- ・クロス集計...P8

各項目結果

質問1.参加施設 所在都道府県



内訳

北海道東北：山形1、青森1、福島1

関東：茨城3、神奈川1、栃木1、東京7

中部：愛知2、山梨3、富山1、長野3

近畿：京都1、大阪1、兵庫1

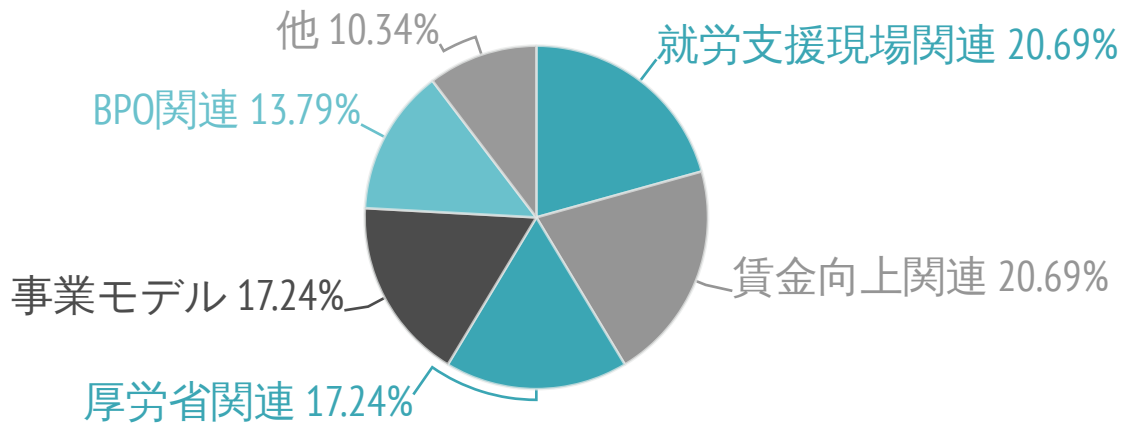
中国：岡山1、山口1、鳥取1

四国：0

九州沖縄：沖縄1、鹿児島1、大分1

各質問項目結果

質問2.ご意見・ご感想をお聞かせください。(自由記述)



回答を上記5カテゴリーに分類(1回答につき複数該当有)

(一部抜粋)

就労支援現場関連の記述(20.69%)

・今後の障害者就労への取り組みが県単位ではなく、全国規模で動きだそうとしていることがわかり前向きな気持ちになった。

賃金向上関連の記述(20.69%)

・現在の工賃事情等がわかりました。これからどのように協力体制を整え、良い仕事に向かえるかを考えております。
・痛感するような話が多く、工賃向上に向けて取り組む意欲を高めさせてもらいました。

厚労省関連の記述(17.24%)

・(中略)厚労省の担当の方に、その後のパネルディスカッションにも残ってもらって、聞いていただけたことが良かったと思う。
・別のところで聞いてはいた内容ですが、事業所の参考事例等もあったので新たな発見もあった。

事業モデル関連の記述(17.24%)

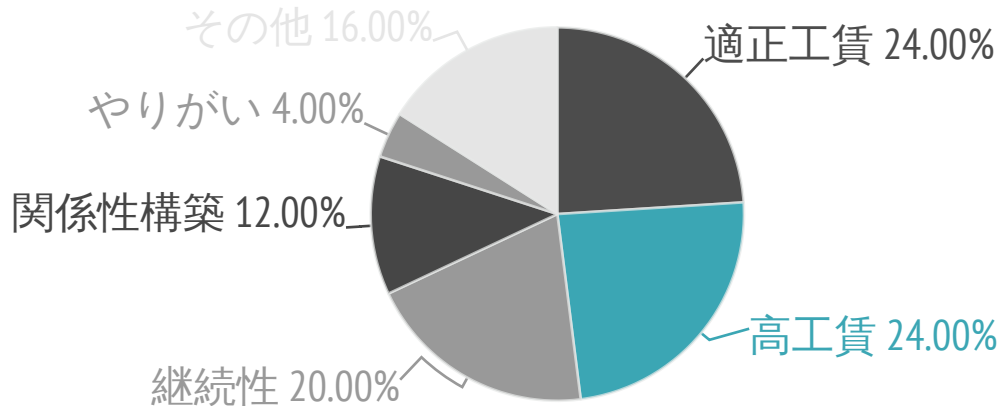
・具体的な事業モデルの提示があり、非常に参考になった。導入事例・成功事例の紹介があれば尚良かったのではないかと感じた。対象とする事業所の規模や運営体制、設備等の条件を問わずに、あらゆる事業所において導入できるような工賃向上のための処方箋を検討していただいていると感じられて、心強く思った。

BPO関連の記述(13.79%)

・BPOという仕組みの中で、作業の提供の仕方、考え方について学ばせて頂くことができました。

各質問項目結果

質問3.工賃30,000円以上を可能とするために企業に何を期待しますか。



回答を上記5カテゴリーに分類(1回答につき複数該当有)

(一部抜粋)

工賃関連の記述(計48.0%)

- ・工賃、作業料ではなく人件費としての価格設定を検討していただきたい。
- ・最低賃金額を念頭に置いて作業単価を考えていただきたい。

関係性構築関連の記述(12.0%)

- ・企業側と支援側、両者がともに助け合えることが必要になると思う。それには「障害者だから・・・」といった支援側の甘えた考えを捨てるべき。

やりがい関連の記述(4.0%)

- ・障害者のもつポテンシャルに着目し、社会の一員として仕事に取り組めるような枠組みづくり。

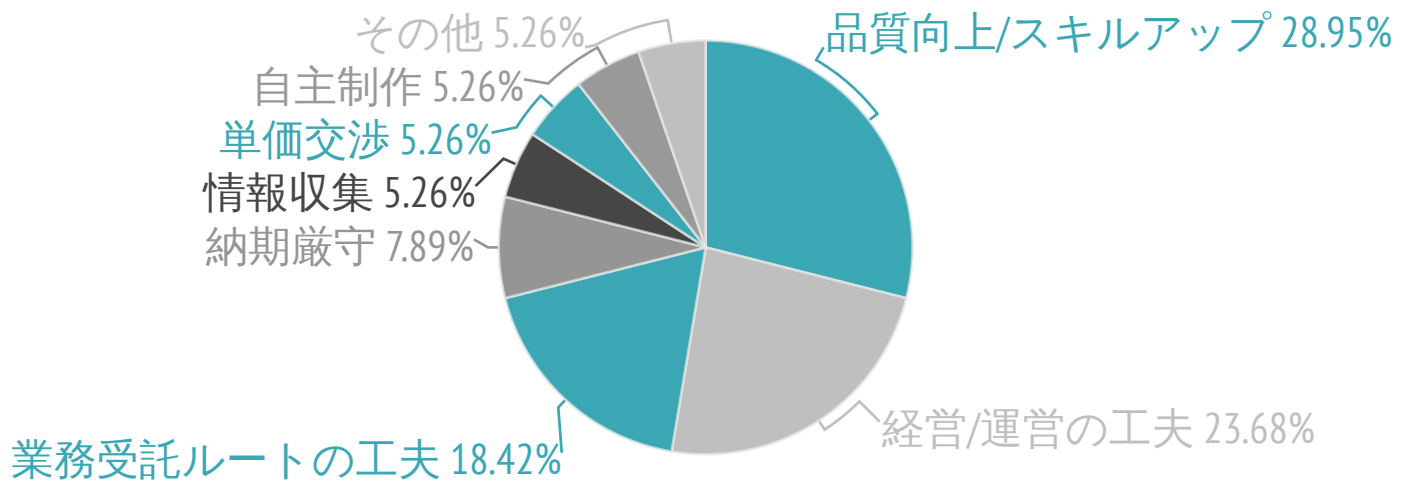
他

- ・信頼してお仕事を任せてもらえるよう責任をもってやりたいが、小さい事業所のため納期が短く、一度の量が多いものはやりたくてもできない。BPOに協力していただきながら等により、小さい事業所にも受けられるようにしてほしい。

- ・都市部だけでなく、地方の作業所も参加できる作業の獲得とその斡旋。

各質問項目結果

質問4.工賃を上げるために自助努力として取り組んでいることを教えてください。(自由記述)



回答を上記7カテゴリーに分類(1回答につき複数該当有)

(一部抜粋)

品質向上/スキルアップ関連の記述(28.95%)

・作業に着手する人員を増やすために、パソコン操作が初めての利用者様へは研修制度を設けています。

経営の工夫関連の記述(23.68%)

・作業に利用者を合わせるのではなく、当事者の特性や能力に応じて仕事を取ることを意識しています。また、社会実情に合わせて必要な業務等を取る。他には優先調達法の観点から役務をここ数年とっています。

・自主事業(リサイクルショップ運営)なので、仕入れ、販売、効率、収益・損益、人材の確保、リスクマネジメントなどです。

業務受託ルートの工夫関連の記述(18.42%)

・県・市の共同受発注センターと協力して、利用者の職業スキルに合った作業を提供してもらうと同時に関連の企業から作業を頂けるようお願いしている。

・単一事業所では難しい大型の老人ホームの清掃業の入札を、有志の作業所と連合を作り、今年度とることができた。現在順調に稼働しており、来年度の契約更新も予定されている。地域の作業所の平均工賃を上げるために、来年度も連合で仕事を取っていきたい。

・企業への直接営業及び近隣事業所で行っていない作業の導入

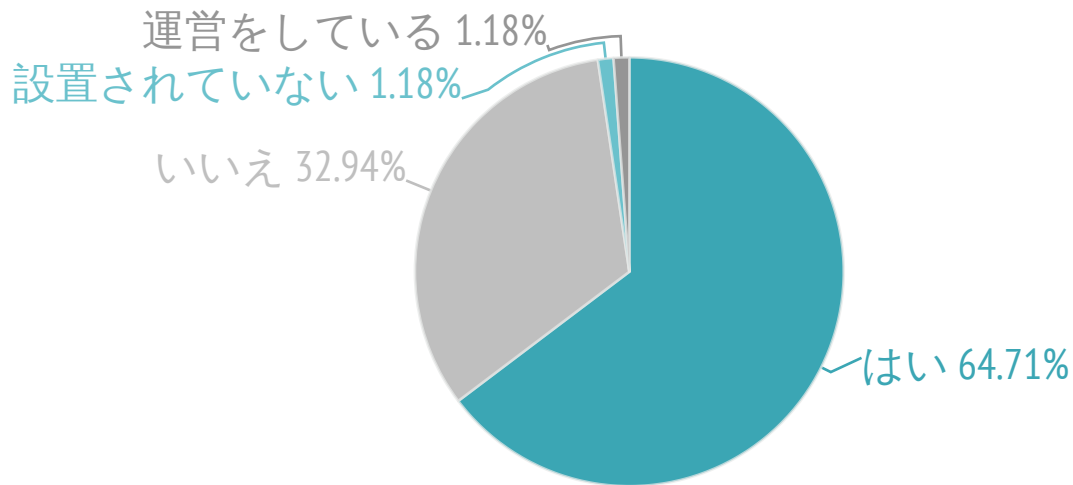
情報収集関連の記述(5.26%)

・利用者の製作でき、高く売れる商品を常に見つけている。

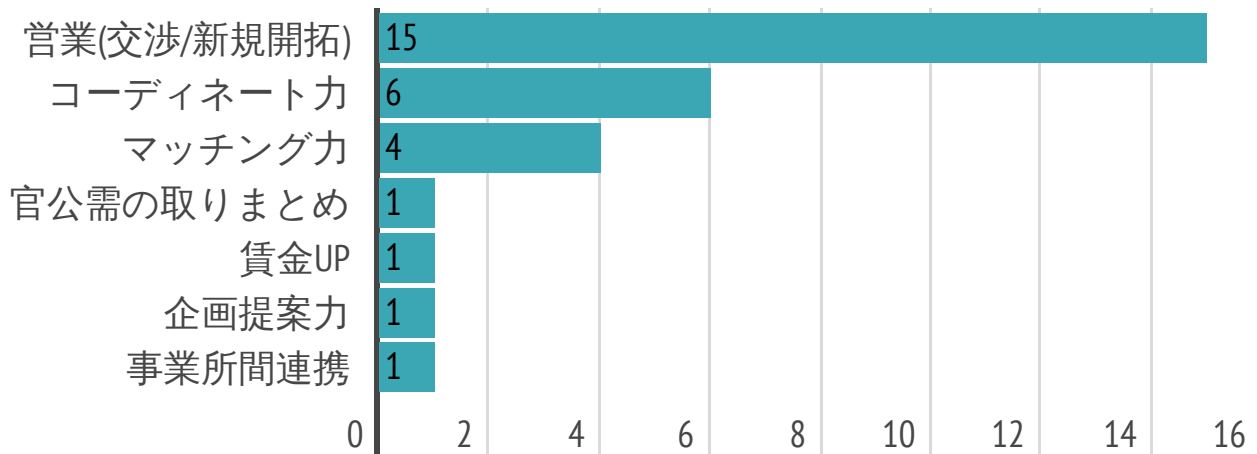
・地域内の他事業所との情報交換・連携

各質問項目結果

質問5.現在都道府県の共同受注窓口と連携を取っていますか。(選択式)



質問6. (B型事業所の方) 共同受注窓口を求める機能のうち、最も重要だと思われるものを教えて下さい。(選択式)



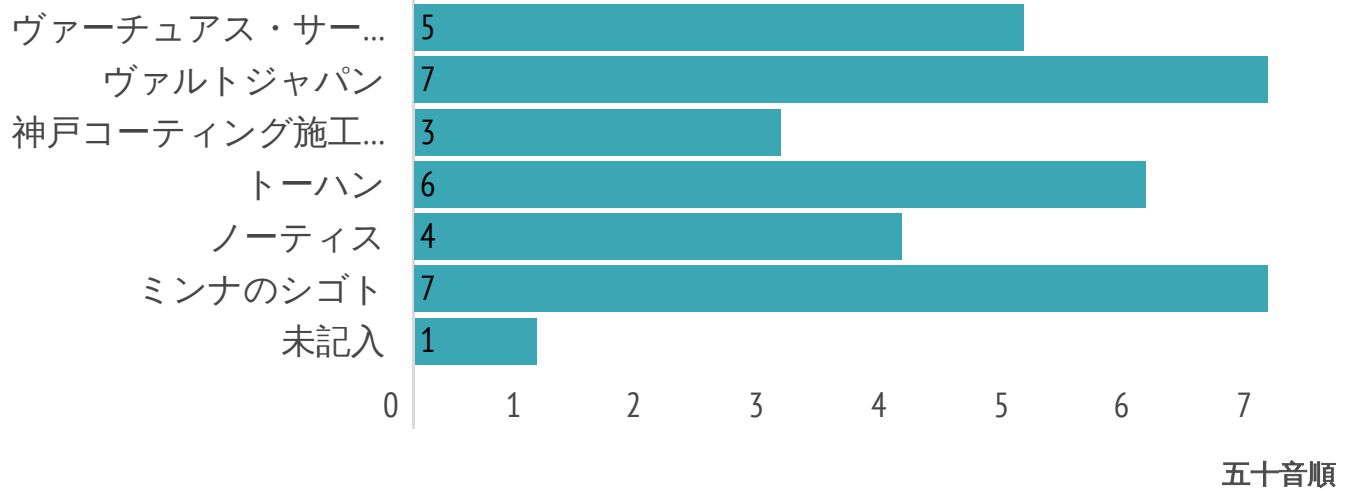
質問7. (共同受注窓口の方) B型事業所に求める機能のうち、最も重要だと思われることを教えてください。(選択式)

作業力 : 1

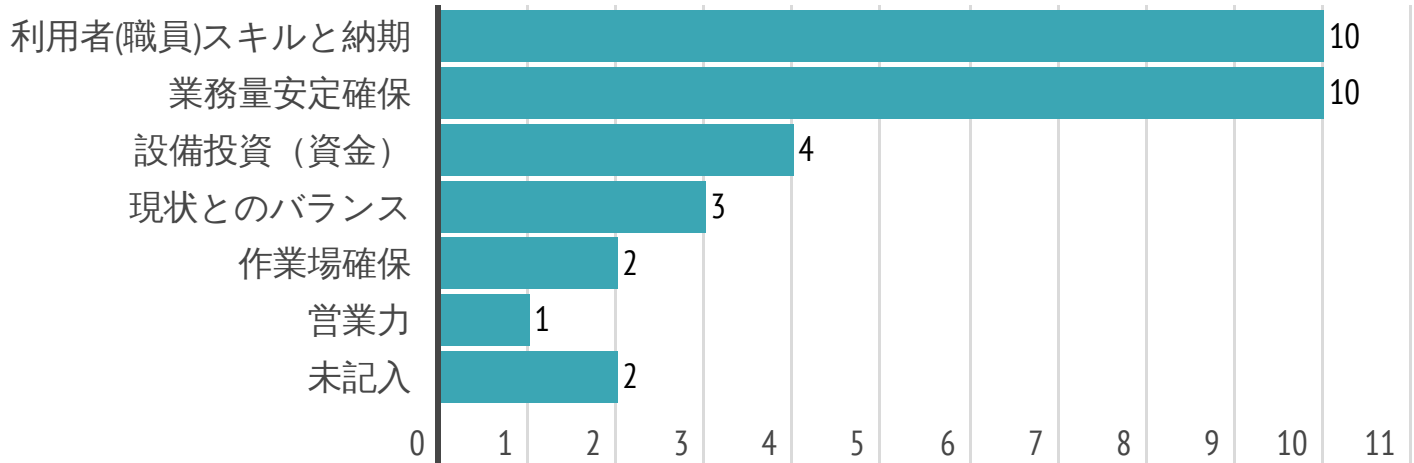
有効回答1件(アンケート回答者の内共同受注窓口の方1施設)

各質問項目結果

質問8.事業説明を聞いて、一番関心を持った企業はどこですか。(選択式)

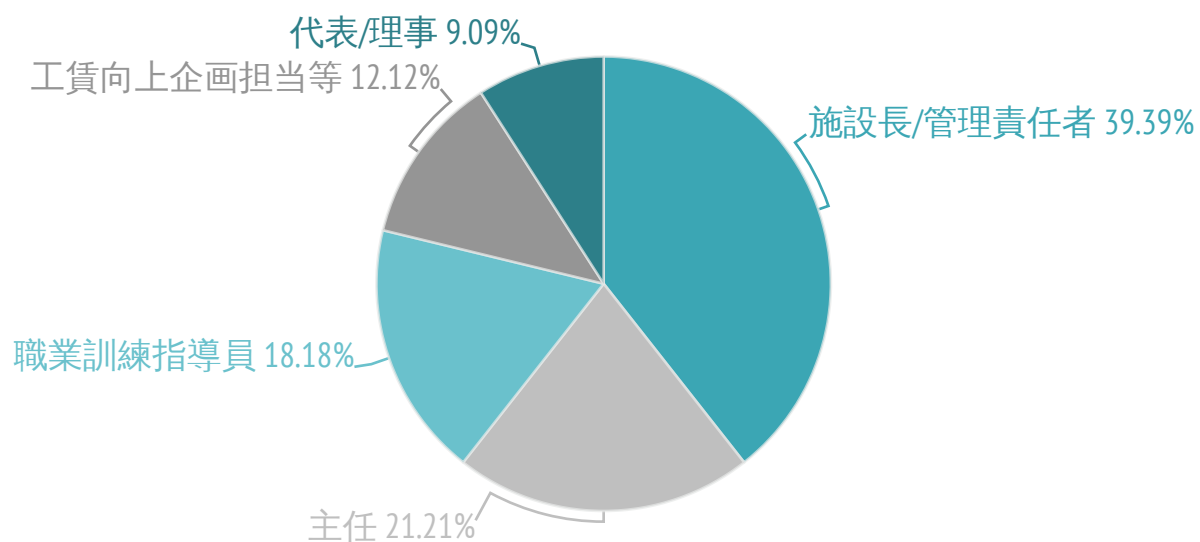


9.新規事業に取り組むにあたっての不安要素を上げるとすると何ですか。(選択)

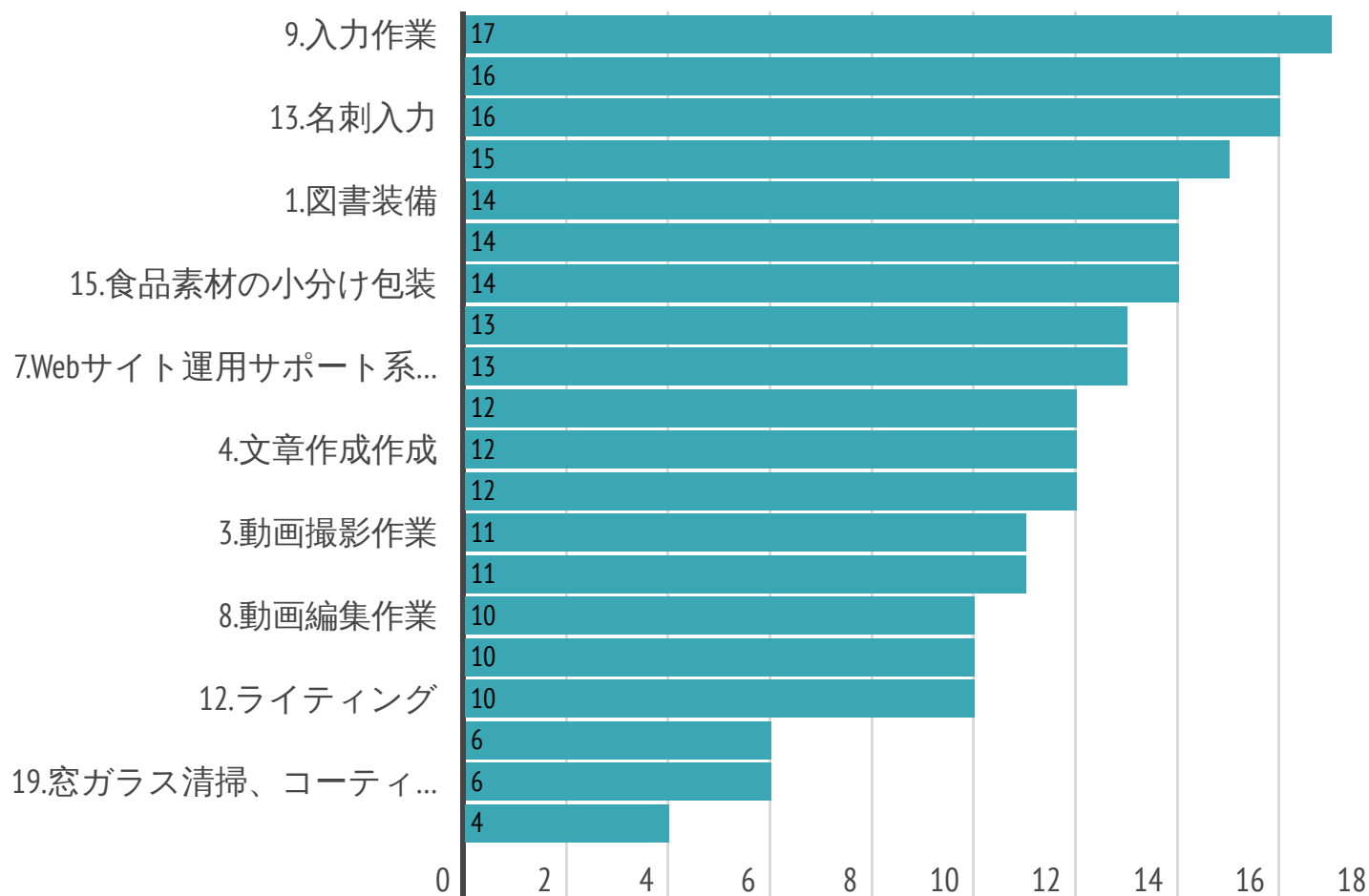


各質問項目結果

10. アンケート回答者役職(自由記述)

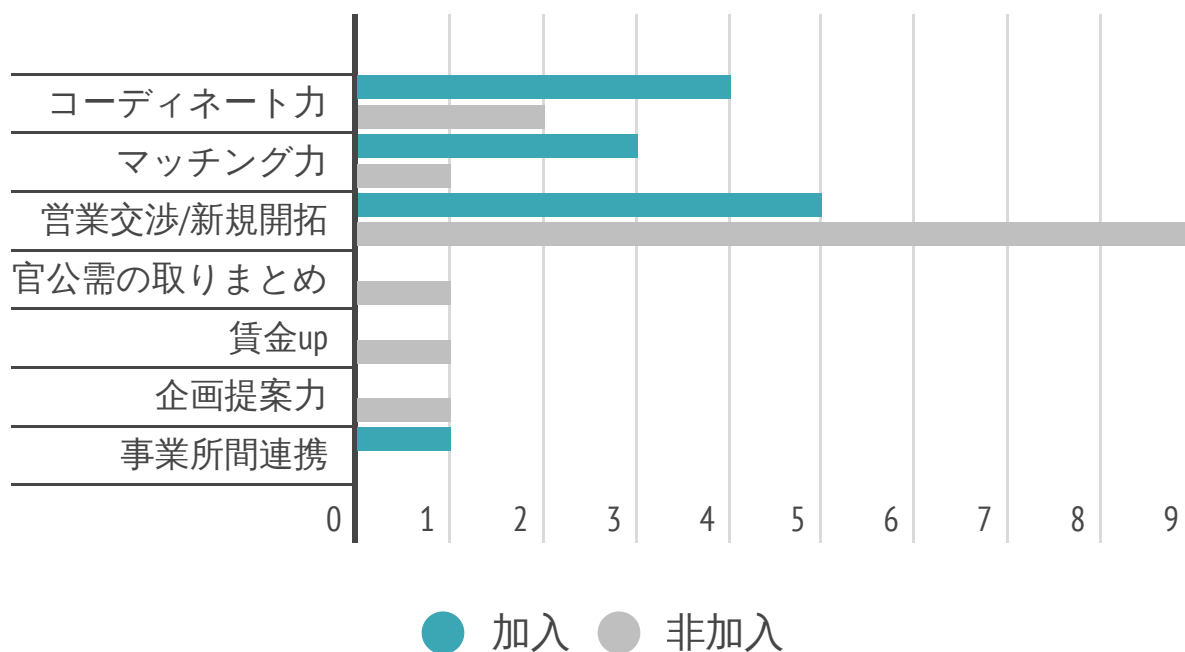


質問11. エントリー希望(複数選択可)

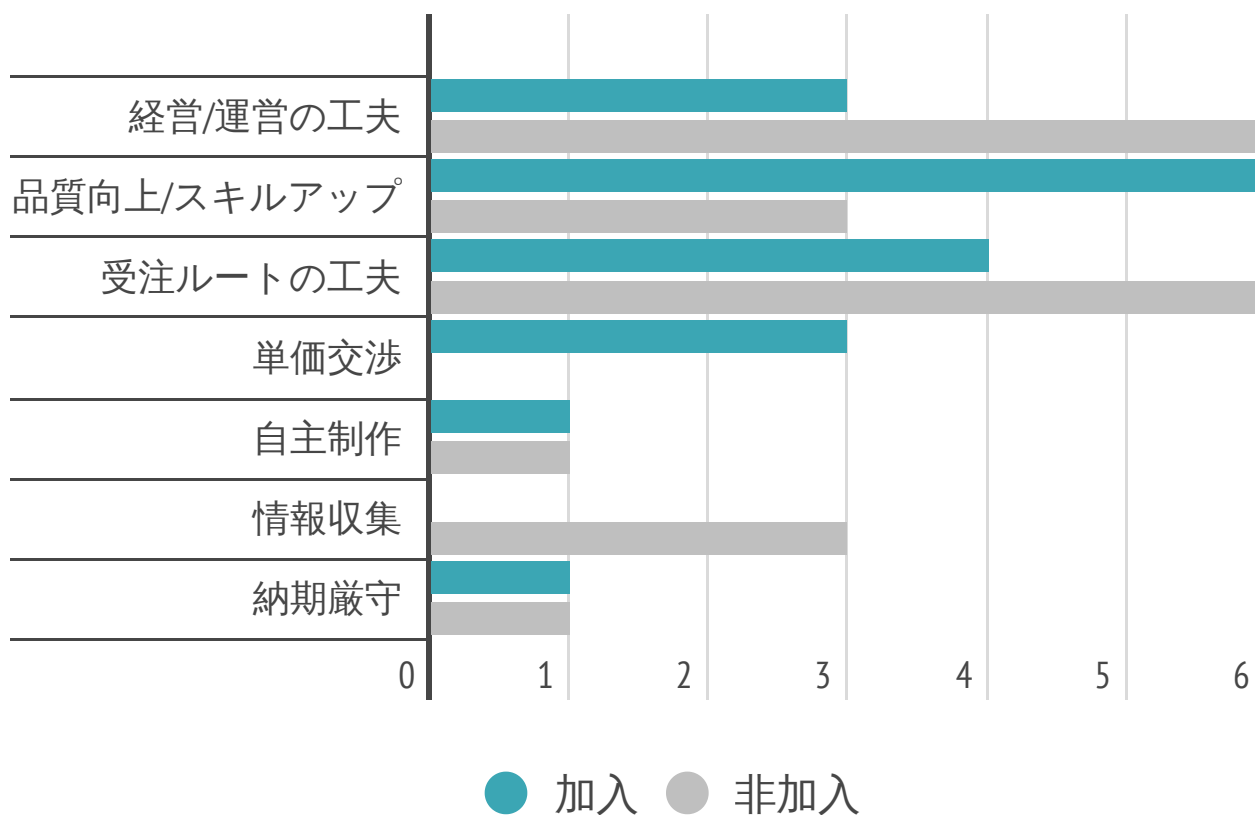


クロス集計結果

A.共同受注窓口加入有無(質問5)別共同受注窓口に求めること(質問6)



B.共同受注窓口連携有無(質問5) 別工賃向上のための自助努力(質問4・自由記述)



記述内容内訳(自助努力：1回答につき複数該当有)